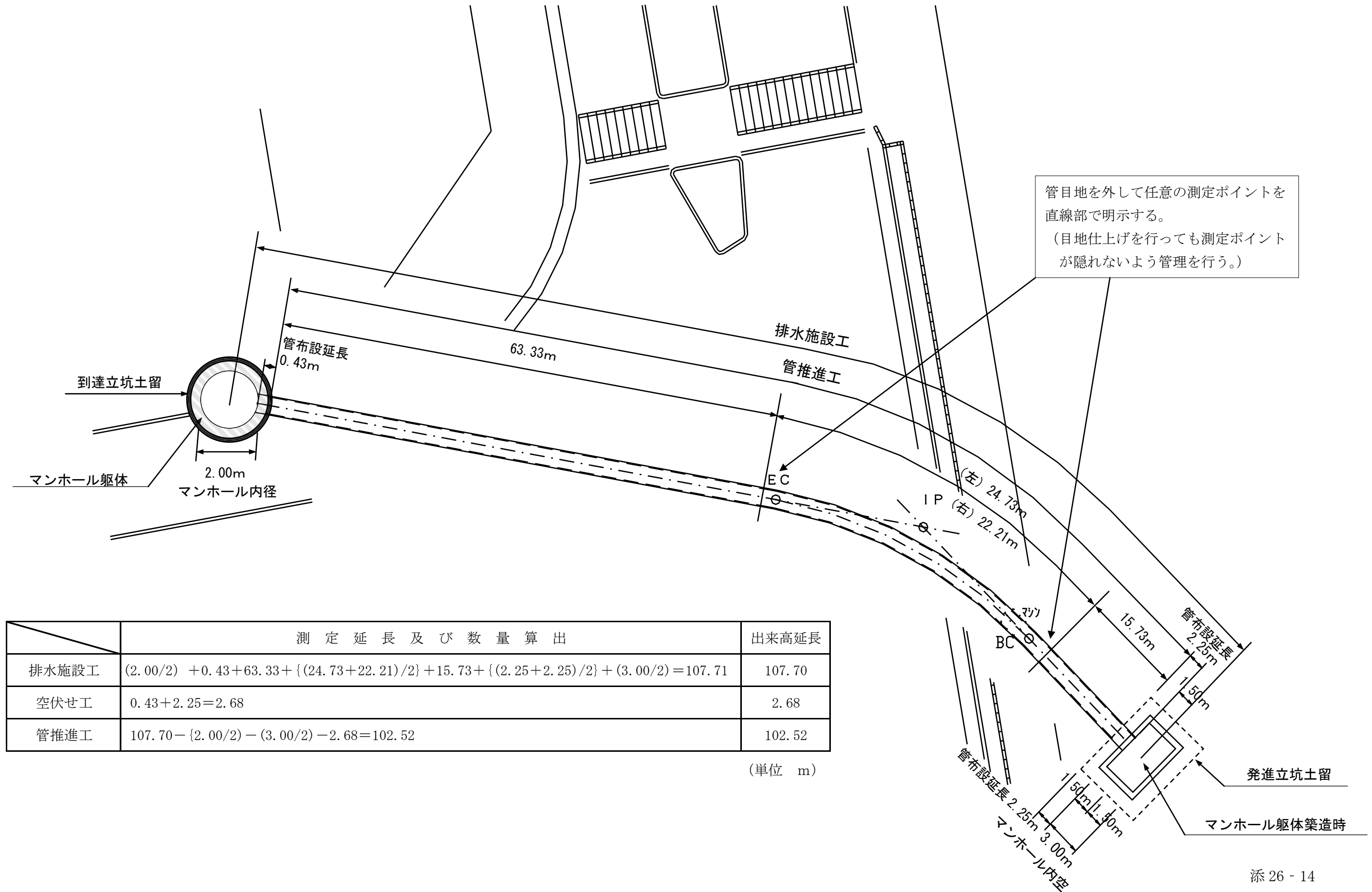


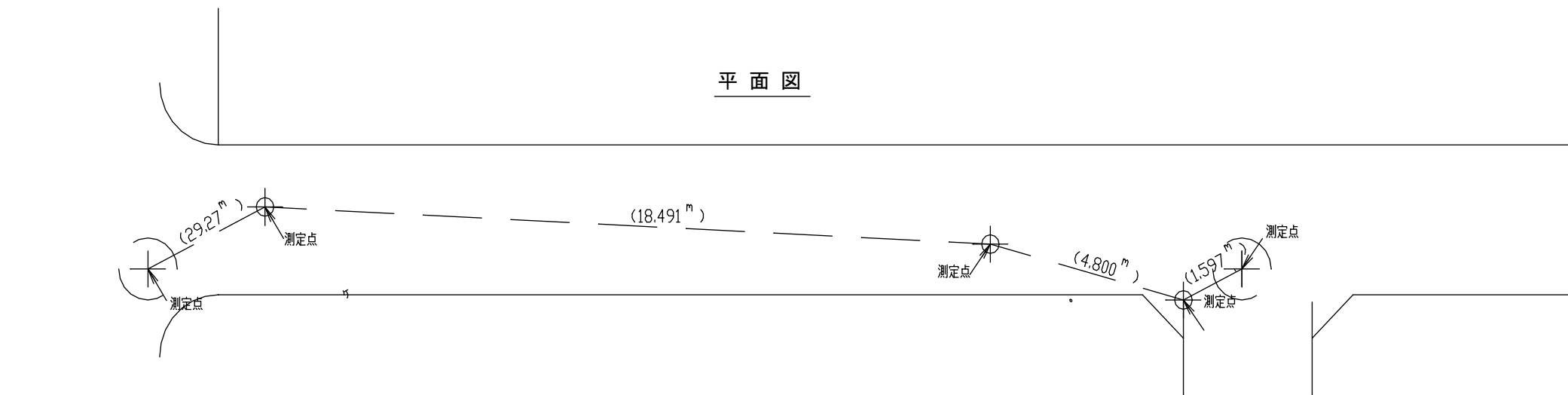
■管内での延長測定の例

(曲線施工の場合は、原則として左右壁の延長を測定する。ただし、直線部は管底部で測定することにより左右壁毎の測定を省くことができる。)

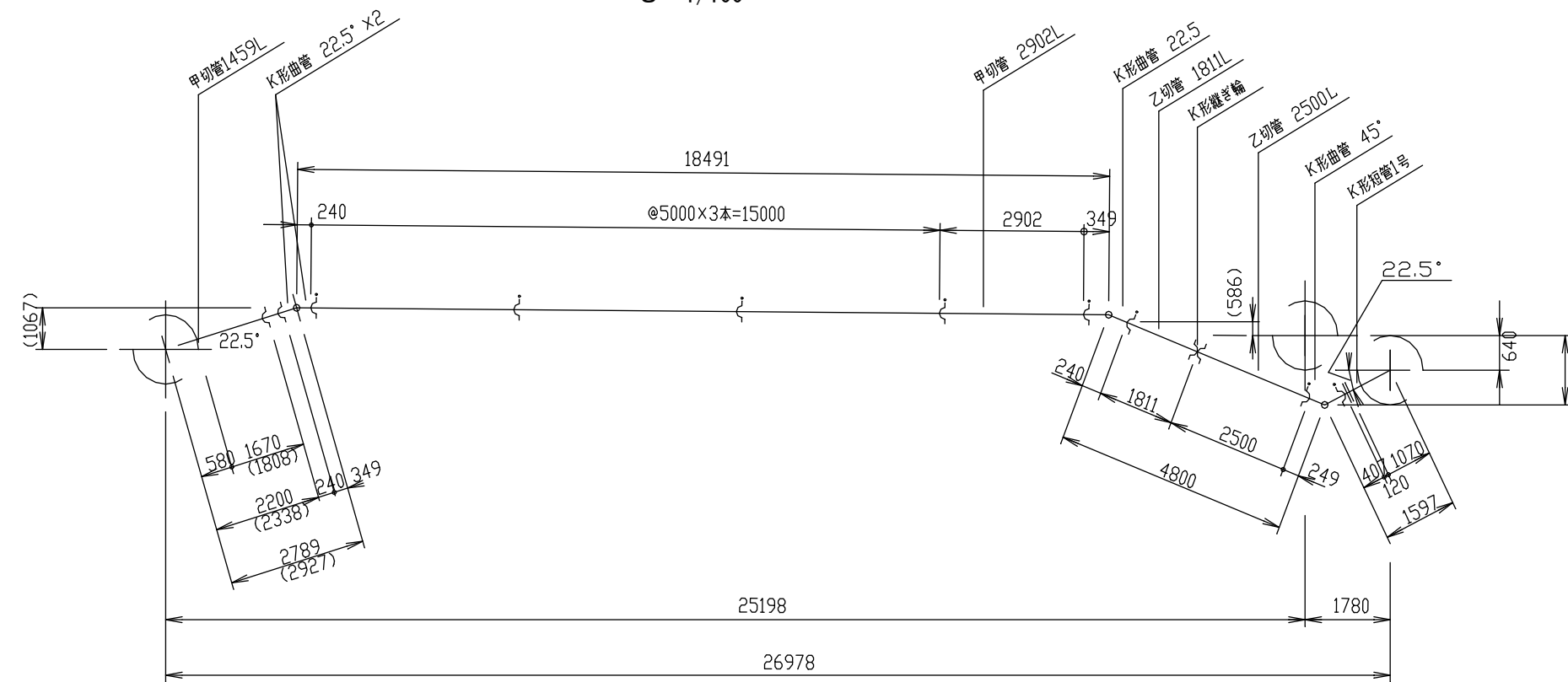


■送水管等（鑄鉄管布設）の  
延長測定の例

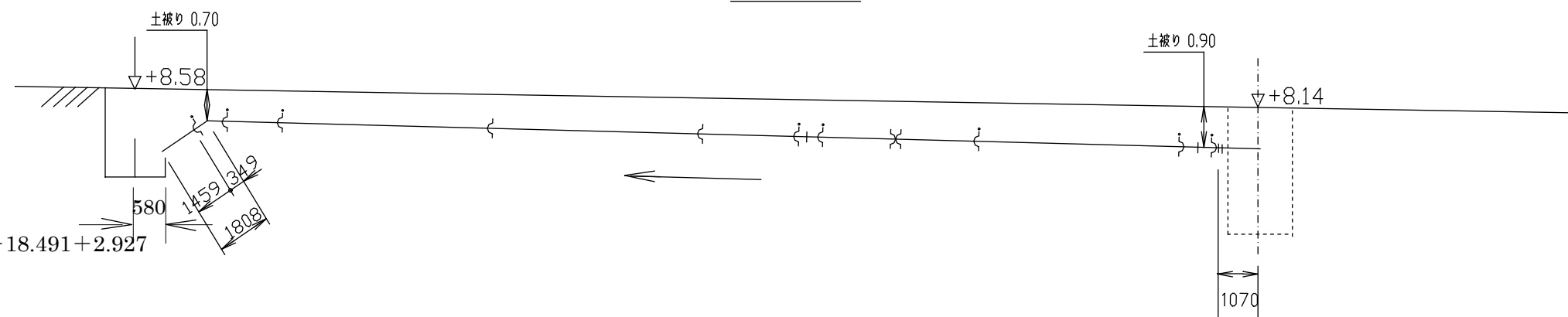
（鑄鉄管路延長は地表面に  
測定点を設定（標示）し  
その延長を測定する。）



φ150K形ダクタイトイル管路  
S=1/100



縦断面図



ダクタイトイル管路実延長

$$1.070 + 0.12 + 0.407 + 4.800 + 18.491 + 2.927$$

$$= 27.815\text{m}$$